

千葉県商店街振興組合連合会

理事長 大野 隆 紹



【県振連の沿革】

商店街振興組合は、小売商業又はサービス業者等が商店街を中心に、街路灯、アーケードや文化教室などのコミュニティ施設を設置するなどの環境整備事業を主に行なう組合である。

千葉県商店街振興組合連合会は昭和58年7月に県下の有力な商店街振興組合11組合が、事業者の発言力の強化を目指して発足した。以来、順次参加者が増え現在は21組合にまで増え、県や国に対して、商店街の近代化対策やまちづくりの推進などを積極的に働きかけているほか、組合間の情報交換を活発に進めて来た。

【栄町通り商店街（振）の概要と大野氏の横顔】

栄町通り商店街は戦後の闇市から自然発生的にできた商店街で、昭和38年に旧国鉄千葉駅が移転し、来街者が大きく減少したのを機に、その活性化対策を講ずるために、昭和40年に法人化された。

大野隆紹（おおの・たかあき）氏は栄町通り商店街（振）の理事、副理事長、理事長を長年にわたって歴任し、現在は相談役。さらに、県振



栄町通り商店街

■千葉県商店街振興組合連合会

所在地	千葉市中央区千葉港4-2 千葉県中小企業団体中央会内
代表者	大野 隆紹
会員数	21組合（出資金210万円）

■栄町通り商店街振興組合

所在地	千葉市中央区栄町40-14 クロフネ内
代表者	小出 衛
会員数	58名（出資金80万円）

連の理事長や中央会の理事としても活躍し、国内初となる商店街厚生年金基金の設立にも参画し、その理事長を務めている。このような功績により、平成15年には組合功労者として経済産業大臣表彰を受賞した。

大野さんは昭和17年千葉市生れ。大学を卒業するとすぐ、お父さんが経営していた呉服と寝具を取り扱う（株）千葉大丸へ就職。大野さんが27歳の時にお父さんを亡くされ、3代目の社長に就任した。現在は貸しビルやマンションなどの不動産管理会社も経営している。

大野さんのモットーと今後の夢をお伺いしたところ、「チャレンジ精神を忘れないで仕事に対して常に努力していくこと。そして、かつては関東有数の繁華街であった栄町地区

の再活性化」だそうだ。

折しも、「栄町まちづくり社会実験推進協議会」が発足。来年度からまちづくりの活性化に直結する企画を公募し、いいアイデアを採用して社会実験を行なうそうで、この試みの成果が期待されている。

ご家族は二人の息子さんは既に独立（長男は後継者）。奥様と二人で千葉市に在住。



ハミングロードバルサ



再開発計画を熟っぽく語る大野相談役